２０１０年１１月５日

防　衛　大　臣
　北　澤　俊　美　様

北海道平和運動フォーラム
代　　表　　箱山　富美子
代　　表　　江本　秀春
代　　表　　山田　剛

平和運動フォーラム石狩地域協議会
代表幹事　　布施　裕
代表幹事　　丸岡　久信

札幌平和運動フォーラム
代表幹事　　飯田　晃
代表幹事　　高桑　史嘉
代表幹事　　今　昭人

千歳基地への米空軍戦闘機訓練移転に抗議し、その中止を求める要請

２０１０年１１月８日から１９日まで、千歳基地において米空軍Ｆ−１５戦闘機訓練の実施が予定されている在日米軍再編に係る訓練移転計画に対して抗議するとともに、直ちに訓練を中止するよう要請します。

嘉手納基地訓練の一部移転・分散は、沖縄の負担軽減とされていますが、米軍再編による移転訓練の強行以降、沖縄嘉手納基地には国内外の米軍基地より飛来した戦闘機は従前を大幅に上回るなど、訓練が強化されています。

また、千歳基地における移転訓練の強行により、爆音・騒音被害がすでに道民にもたらされ、将来、墜落事故や大きなトラブルなどが起きるのではないかという不安を持たざるを得ません。

軍事訓練移転の強行は、平和を求める多くの国民の願いを踏みにじるだけでなく、日本国憲法に反するものであり、断じて容認できるものではありません。日米新ガイドライン成立後、米海兵隊の矢臼別実弾砲撃移転訓練、道内民間港への度重なる米海軍艦船の強行入港など、米軍による北海道での訓練強化は、在日米軍基地の縮小・撤去を求める道民の願いに逆行するものです。

また、日米両政府は、普天間基地の代替として辺野古に新基地を建設することで再度合意しました。「国外、最低でも県外」とした約束を反故にし、沖縄県民に新たな負担を押しつけるものであり、断じて容認できるものでありません。名護市長選や市議選の結果で明らかなように、市民・沖縄県民の圧倒的多数が辺野古新基地建設に反対であるとの意思を示しており、計画の撤回を強く求めるものです。

私たちは、武力による国際紛争の解決を永久に放棄すると定めた日本国憲法を遵守し、平和な国際社会の実現に向け、全ての軍事基地の整理・縮小・廃止を進めていくことが重要と考えています。

以上のことから、貴職に対して次の事項について強く要請いたします。

＜要請事項＞

１．千歳基地への米空軍戦闘機訓練移転の撤回をすること。また、１１月８日から予定されている訓練を直ちに中止すること。

２．辺野古への新基地建設計画を撤回するとともに、在日米軍基地の縮小・撤去を早急に行うこと。

以　上